

CONTENTS

- P1 第52回(2025年度)定時総会・激励会
P2 ゴールデンウィーク備備
P3 警視庁機動隊観閲式
Member's Lounge「企業活動におけるAI活用 -AI活用による人の役割変化-」
齋藤 聡氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和7年
7月号
はげまし
For the Riot Policemen
& Members
— No.587 —

第52回
(2025年度)

定時総会・激励会

中村理事長
定時総会にて、議事を進行する



会場の風景



去る6月9日、当会の定時総会・激励会を明治記念館にて開催した。定時総会では理事および会員が出席し議案を審議した。また定時総会の終了後には、会員と機動隊員とが交流する激励会が行われた。警察庁長官、警視總監以下、警察幹部や現役の機動隊員が多数参加し、盛大な会となった。

定時総会では、会員総数1103名のうち委任状を含め946名の出席数となった。中村真一理事長を議長とし、前号の『はげまし』に掲載した通り第1号議案「2024年度事業報告及び収支決算」、第2号議案「2025年度事業計画及び収支予算」を審議し、原案どおり承認された。

第3号議案「理事の選任」では、昨年度の定時総会にて2026年6月を任期として新たに理事、監事が選任されたが、人事異動などに伴い退任する理事の後任として新たな理事5名を選任することとなった。審議によって阪田尚也氏、新城晃氏、原田浩氏、福田和久氏、渡邊善之氏の選任案が承認された。

定時総会

定時総会では、会員総数1103名のうち委任状を含め946名の出席数となった。中村真一理事長を議長とし、前号の『はげまし』に掲載した通り第1号議案「2024年度事業報告及び収支決算」、第2号議案「2025年度事業計画及び収支予算」を審議し、原案どおり承認された。

なお、総会後は第436回理事会が開催され、役員選定の審議が行われた。内田裕之副理事長の後任として右田彰雄氏、また廣瀬孝副理事長、伊澤昭則常任理事を継続とする選任案が承認された。



感謝状贈呈



総会の様子



一般社団法人 機動隊員等を励ます会 理事・監事

2025年7月1日現在



理事長 中村 真一 日鉄物産㈱	副理事長 廣瀬 孝 日鉄建機㈱	副理事長 石田 彰雄 日鉄ケミカル&マテリアル㈱	相談役 樋口 眞哉	理事 石俣 行人 日鉄エンジニアリング㈱	理事 犬伏 勝也 住友商事㈱	理事 小野山 修平 日鉄テックス エンジン㈱	理事 河瀬 博英 岡部㈱	理事 阪田 尚也 三井物産 スチール㈱			
理事 芝本 尚武 芝本産業㈱	理事 新城 晃 日鉄建機㈱	理事 鈴木 勝 五十鈴㈱	理事 園田 裕人 日本製鉄㈱	理事 谷 潤一 大阪製鉄㈱	理事 近松 幸士郎 日鉄ドラム㈱	理事 中田 貴之 三和実業㈱	理事 橋山 和生 協材興業㈱	理事 原田 浩 日鉄鋼板㈱	理事 福田 和久 山陽特殊製鋼㈱	理事 美濃部 慎次 合同製鉄㈱	理事 米澤 公敏 日鉄物流㈱
理事 渡邊 善之 日鉄ケミカル	北海道支部長 須藤 哲也 ナラサキ スタックス㈱	東北支部長 下池 重義 味育工	北陸支部長 今井 幹太 新川金庫㈱	千葉支部長 菅 千太郎 平和産業工業㈱	名古屋支部長 廣部 貴巳 豊田通商㈱	大阪支部長 木村 純 富士興業㈱	中国四国支部長 堀口 悟史 堀口商運㈱	九州支部長 自見 修真 自見産業㈱	監事 岩井 一雄 三栄商会	監事 村上 裕 日鉄ケミカル&マテリアル㈱	常任理事 伊澤 昭則 日鉄物流㈱

今月の賛助広告会員

- 三和実業(株)
- 日鉄物産(株)
- 草野産業(株)
- 日鉄エンジニアリング(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- 平和農産工業(株)
- 合同製鉄(株)

北海道支部 事務局 長津 俊彦(日本製鉄㈱ 北海道支店 鋼材室長)
東北支部 事務局 渡部 隆介(日本製鉄㈱ 東北支店 鋼材室長)
北陸支部 事務局 田子 泉(日鋼金庫㈱ 総務部 部長役)
千葉支部 事務局 遠藤 信太郎(平和産業工業㈱ 社長)
名古屋支部 事務局 岡原 清美(豊田通商㈱ メタル+Plus)本部
大阪支部 事務局 大塚 信太郎(平和産業工業㈱ 社長)
中国四国支部 事務局 小松 純(日本製鉄㈱ 中国支店 自動車鋼材 専任客員)
九州支部 事務局 吉野 弘志(富士興業㈱ 営業部長)

激励会

杯を交わし激励する機会 隊員一人ひとりの大きな励みに

定時総会後に行われた激励会では、警察幹部のほか、警視庁の第一機動隊、第九機動隊、特科車両隊、関東管区機動隊に所属する機動隊員 93 名が参加。警察幹部や会員も合わせると、300 名を超える参加者が一堂に会した。

開会の挨拶に立った中村真一理事長は、「今年は大阪・関西万博が開催され、都議会議員選挙や参議院議員選挙、世界陸上大会、デフリンピック大会が行われるなど警備の重要な一年になる。日々努力と研鑽を重ねて職務を完遂されていることに心より感謝します」と述べた。

来賓の楠芳伸警察庁長官は機動隊の歴史を振り返り、「機動隊は戦後の混乱の中で創設され、

治安維持の重責を担ってきた。時代の変化とともに機動隊の主な任務は変化してきたが、国民の安全・安心の確保のため、なくてはならない活動をしていることは変わらない。本日は激励の機会をいただき、この場にいる機動隊員一人ひとりとともに大きな励みになる」と感謝を述べた。

迫田裕治警視總監は、「4 月に大阪・関西万博が始まり、警視庁機動隊も開会式の警備に従事した。今年は行事も多く、機動隊にとって重要な年になると捉えている。機動隊の『出動の歌』に、八鎮めの先駆」という歌詞があるが、何かことが起きたときに事態收拾のための先鋒としての役割を期待されているのが機動隊。そのために機動力や技術の

練度を一層高めていく」と力を込め語った。

乾杯の音頭をとった右田彰雄副理事長は、「機動隊の皆さんは、多岐にわたる事態に的確に対処されている。それを可能にしているのは、国民を守ると強い信念と、絶え間ない研鑽の賜物。心から感謝するとともに、引き続き支援をしていく」と述べた。

全員で乾杯をした後は、懇親の時間となり、会場の各テーブルでは会員と隊員が和やかに会話を交わしていた。警視庁第四機動隊の三嶋唯之巡査部長は機動隊員を代表して壇上に立ち、当会への感謝を述べた後、「今年機動隊の力が例年以上に必要とされる警備が続く。我々機動隊員は国民の安心と安全を守り



壇上に整列する機動隊員



右田副理事長

迫田警視總監

楠警察庁長官

中村理事長



三嶋巡査部長

歓談する会員と隊員

抜く」と力強く語った。
会の最後は全員で大きな輪になり、恒例の「この世を花にするために」を斉唱。この数年はこの曲の歌い手である橋幸夫氏が来場し一緒に歌唱していたが、今年は検査入院のため参加は叶わなかった。しかし、事前にメッセージをいただいていた、「皆様方は日本の国の礎であり、社会の礎。一国民としても皆さんを応援しています」との言葉が代読された。

中締めを行った廣瀬孝副理事長は、「厳しい世の中だが、引き続き国民の安心安全を守っていただきたい」と述べ、万歳三唱。激励会は盛会のうちに終了した。



万歳三唱を行う廣瀬副理事長



「この世を花にするために」を斉唱

ゴールデンウィーク警備

最長で11連休となった今年のゴールデンウィーク。円安の影響でインバウンド観光客が増え、全国の行楽地が賑わった。機動隊員等は空港やイベント会場など各地で警戒警備等に従事した。

福岡県警察機動隊

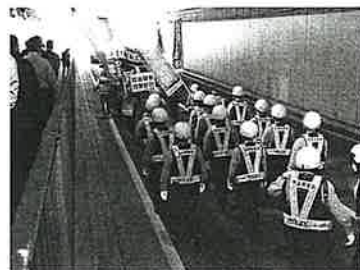
「博多どんたく港まつり」は5月3・4日の2日間行われ、のべ約23.5万人(主催者発表)が見物に訪れ、コロナ禍後で最多となった。期間中、機動隊員等は警備広報、テロ警戒を実施し、事故やトラブルなく無事に任務を遂行した。



大通りでの警備広報実施状況(福岡)

成田国際空港警備隊

4月25日～5月6日の成田空港の出入国者数は112万7700人で、前年の同時期より18・8%増(東京出入国在留管理局/5月14日発表)。日本人が前年比5・7%増、外国人が24・7%増となった。出国は4月26日、入国は5月6日が混雑のピークだったが的確な警備により大きなトラブルは発生しなかった。



空港周辺でのデモ隊への対応状況(成田)

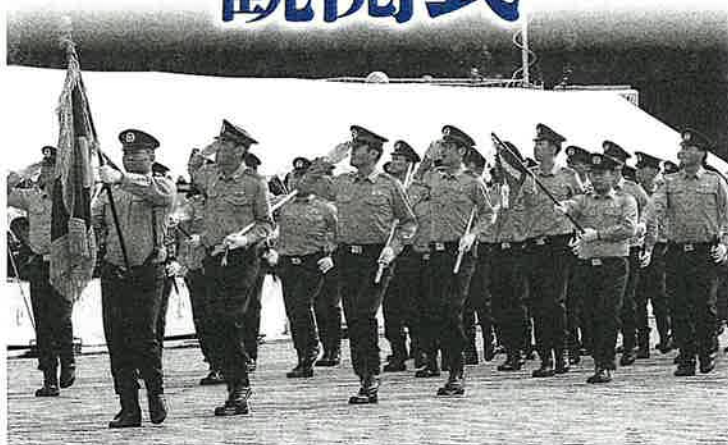


旅行者で賑わう空港ロビー内の警戒状況(成田)

→ 今月の賛助広告会員 →

- 株式会社 岡部
- 株式会社 玉造
- 五十鈴
- 堀口海運
- 日鉄建材

警視庁機動隊 観閲式



制服部隊

約1700名の隊員が分列行進

去る5月21日、今年で創設77年となる警視庁機動隊観閲式が明治神宮外苑絵画館前にて行われた。警視總監を観閲官、警備部長を総指揮官とし、機動隊員約1700名が参加した。当会からは中村理事長と伊澤常任理事が観閲した。

観閲式は午前7時20分に開始された。迫田裕治警視總監が臨場し開式宣言が行われ、警視庁音楽隊の演奏をバックに各部隊の機動隊員による分列行進がスタートした。式には機動隊全10隊の制服部隊、出動服部隊に加え、女性警察官特別機動隊や銃器対策部隊、機動隊自動二輪部隊などが参加。NBC(核・生物・化学)テロ対策車など車両74台や警備

大6頭も行進し、航空隊によるヘリ4機の編隊飛行が披露された。全部隊が行進を終えると、迫田警視總監は「本年は東京都議会議員選挙、参議院議員通常選挙が行われるほか、大阪関西万博、世界陸上競技選手権大会、東京2025デフリンピック大会が開催されるなど、警備部門にとって極めて重要な一年になる。このようなときにこそ、諸君は『鎮めの先駆』として、警視庁機動隊こそが事態収拾のための先鋒であるという矜持をもって、様々な警備事象に対する備えに万全を期すべく、部隊としての結束と練度を高め、そして、そのための努力と研さんを不断に続けていただきたい」と訓示した。



迫田警視總監



銃器対策部隊



女性警察官特別機動隊

1. AIで実現したいものとは
米オープンAI社が開発した「ChatGPT」を皆さんも利用したことがあるかもしれません。私はこのChatGPTに、自分が悩んでいたゴルフスウィングについて質問をしてみたことがあります。ゴルフスウィングにはボディターンとリストターンの2種類ありますが、どちらに自分が向いているかを聞きました。すると、「あなたの体型であればボディターンが向いているのではないかとまず提案してくれました。加えて、「右にプッシュアウトしませんか?」などと四つくらいの質問をしてくれるわけです。それに対する私の答えに応じて、ChatGPTからサジェスチョンをしてもらえました。

この過程を見ると、ChatGPTは知識を持っており、しかも私のやりとりで思考して、最後はレコメンデーションをする機能を持っているように見えます。このAIの機能についてこれから紹介していきます。人間がAIもしくは機械に何をしたいのかという、知識を持たせて思考し、判断をさせたいわけですね。それを目指したものがAIです。機械に知識を持たせるには、技能や理解、事実の断面を情報として取得し、保存をデジタル

今月の賛助広告会員

日本製鉄(株)
大阪製鉄(株)
三和運輸機工(株)
新ケミカル商事(株)
日鉄物流(株)
日本製鉄(株)名古屋支店

まずAIという概念は1950年にアラン・チューリングが、人間のような応答を機械ができるかを判定する「チューリングテスト」の概念を提唱しました。続いて1956年のダートマス会議において、「人工知能(Artificial Intelligence)」という言葉が誕生しました。そして1950~1970年代の第一次AIブーム、1980年代の第二次AIブームでは、判断や思考はルールで表現できるものだという考えに立脚した記号処理に注力していた時代です。しかし、限界を迎え、第二次ブームの後、多くの人や企業がAIから離れました。次に2010年に第三次AIブームが訪れます。ディープラーニングが研究され実用化されたこと、多量なデータがインターネット

Member's Lounge 機動隊員等を励ます会 5月の朝食講演会

技術の進歩によってAIはビジネス現場や日常生活に浸透してきている。今回は組織内のDX化やAI活用を推進してきた齋藤氏にお越しいただき、ご自身の知見や経験をもとに企業におけるAI活用やAIの課題についてご講演いただいた。

〈5月15日のゲスト〉

さいとう たかし
齋藤 聡 氏

日鉄ソリューションズ株式会社
執行役員
トランスフォーメーション推進本部長
AI活用推進センター所長



プロフィール

1965年 東京都生まれ

経歴

1991年 新日本製鐵(株) 日事業部
2009年 新日鉄ソリューションズ(株) 流通・サービス事業部
2010年 同 ITIS事業本部
2017年 新日鉄住金ソリューションズ(株) システム研究開発センター所長

2020年 日鉄ソリューションズ(株) システム研究開発センター所長、DX推進&ソリューション企画・コンサルティングセンター所長

2021年 同 DX&イノベーションセンター所長

2023年 同 トランスフォーメーション推進本部長

2025年 同 トランスフォーメーション推進本部長
AI活用推進センター所長

企業活動におけるAI活用
AI活用による人の役割変化

「P3からつづく」

ト上に存在していること、それを処理する計算能力が準備されたことがベースとなって第三次ブームが起きました。AIはある特定の領域に対していくつか課題はありつつも、知識を持ち、思考、判断が可能になりました。

3. AI 進化の背景にある技術

直近の AI の進化において、大きな役割を果たしているのは、深層強化学習の技術です。将棋や囲碁、自動運転の制御などの根幹にあるのがこの技術です。そして、

文字情報や画像情報などが表す意味をベクトルにより数値化する多次元ベクトルという技術も大きな役割を担っています。膨大なパラメータで定義されるベクトルを用いて画像や文章の特徴、意味を表現する技術ができています。この技術はもととて提唱されていたものの、処理を実現する計算能力がありませんでした。しかし昨今、計算能力が高まり、膨大なパラメータのベクトルを扱うようになりました。このディープラーニングと多次元ベクトルの意味づけを合体させたものが生成 AI ・大規模言語モデルになります。

この性能は、パラメータ数、計算パワー、学習データの量を増やせば増やすほど上がります。リソースのパワー、言い換えるとお金のパワーをかければかけるほど高度なものが得られることが特徴です。

そしてこうした技術は ChatGPT の登場で一気に世間の注目を集めるようになります。思い返せば ChatGPT は当初、テキストだけを扱っていました。それがここ2年の進化として、画像が使えるようになり、音声データが使えるようになってきています。さらに、複数のプロセスを持ちながら、外部の機能と連携して結果を出すエージェント的な活用ができる AI エージェントが登場し

ました。さらに、外部知識ベースと連携することで、大規模なモデルを保管しながらものを考える RAG 機能 (Retrieval-Augmented Generation) が実用化しています。より複雑な自然文の意味を解釈して対応するためのファインチューニングなどによって、生成 AI の活用シーンが高まり、広がっているのが今の状況です。なお、進化の全体観を俯瞰するものとして表をご参照ください。縦軸には技術を並べ、人になぞられて AI が獲得したものをまとめています。

4. 業務システム・開発プロセスと AI

AI が存在することで企業の業務システムを開発プロセスがどう変わってきているのでしょうか。まず製造現場では、これまで製造プロセスの機械化自動化を進めていたが、勘と経験のよる部分は人が担っていましたし、今もそうです。バックオフィスでは、システムは記録、集計、検索などを司っていますが、処理の判断もしくはプロセスの移行は人間が行っています。また、システム開発はプロセスの多くを人間が担っている状況で、システ

ム化はあまり進んでいません。

それぞれの領域に対して AI に注目すると、まず製造現場は文脈がキーワードになります。文脈の理解というのは、音、揺れ、気配、意図のような定量化しにくいけれど変化として読み取れるものを理解しながら、どういったことが起こっているかを判断する能力になります。定量化しにくい要素は従来のシステムではとても処理が難しいものでした。ですから経験者が持つ言語化されてないノウハウ、つまり暗黙知で処理をしていたものを共有化、自動化できなかったのです。それがここ十年の AI の進化によって、勘や経験のシステム化が可能になっていきます。例えばトラブル時の報告書や保守履歴などを学習させることで、異常対応の勘所を AI が提示できるようになっています。

また、自然言語による作業指示書、もしくはノウハウを今までは形式化する必要がありましたが、文書のまま、もしくはいろんな表現のまま AI に取り込むことで、AI がそれを理解し再構成して、次世代の作業マニュアルとして活用できるようになっています。ペテランの技術者の知見を AI に伝承することで、属人化の排除、技術伝承の道筋ができると考えています。すし、実際に取り組んでいる企業も多くあります。

バックオフィス領域も製造現場と同じです。AI を用いることで、これまでの情報システムで直接扱えなかったテキスト情報やその意味が処理対象になり、日頃の業務ノウハウを文書として理解し、何をすべきかを判断できるようになっていきます。業務システムにおける判断の補助に AI を使うことで、自分が何をしていいかわからないときに、AI が指示をするような技術が実現しています。それ

を拡張、もしくは展開することで人間ではなく AI が判断して処理を進め、最後に人間がチェックする業務のシステムの構成ができるのではないかと考えています。これはホワイトカラーの業務の大きな変革、自動化の流れにつながっていくと考えています。

システム開発においては、よく言われる壁が三つありました。一つは人間が自然言語と機械が理解しやすい言語であるプログラミング言語を理解しなければならぬということ。また、業務の仕様書など自然言語で書かれているものをプログラミング言語にする際にどうしても抜け落ちや取り違えが発生します。また日本では労働人口が減少する中、グローバルな人と仕事をすることが増えていますが、やはり言葉の壁を越えなければなりません。しかし生成 AI を活用することで、いずれの壁も無くなる方向です。

5. AI の課題

ただし生成 AI には課題もあります。大きな課題は、誤りや不適切な出力の可能性です。今の AI の仕組みを使っている上ではゼロにはなりません。ただ、この点に関しては人間との会話でも相手が誤っている可能性は十分あるので、人の付き合いと同じように AI を捉えることで課題を乗り越えられと思っています。

もう一つの課題が、大規模言語モデルを作るには膨大なコストがかかるということです。オープン AI やマイクロソフトのような多大な資本を持った人たちにしか有益なモデルを作れないという課題があります。さらに大規模言語モデルをいっただん作ると、その後の新しい情報を取り込めないという課題もありました。また、AI に与えられる指示のボリュームには制限があります。例えば会社の全文書を一気に与えて、その文章から何が得られますか？というような処理は今の AI 単体では実現で

きません。他にも、著作権の問題もあります。作家・クリエイター・俳優などの権利侵害の可能性です。これらの課題の対応の一つとしては、適切な指示をすることが挙げられます。処理を分割させるような指示や質問の仕方など、AI を使う側が工夫することで AI にきちんと処理をさせ、期待する効果が得られるようになります。

例えば、本日の講演で私が作ったパワーポイントを AI に渡し、要約するように指示すれば、ある程度の要約はします。これを「こういう人たちが聞く観点で要約して」と言えばそれに応じた内容になります。例えば要約してほしいけれど、最新の情報が含まれていないかもしれないから、最新の情報も含めて要約してほしい、もしくは誤りを指摘しながら要約してほしい、内容を補完するような外部の情報があれば、そのリンクを入れながら補完してほしいなど加えることで、かなり高度な要約ができます。指示の仕方

です。AI エージェントと ChatGPT のようなウェブベースの AI で何が違うのかというと、AI エージェントはあるプロセスの中に AI が組み込まれることになるので、自分たちが行っているプロセスがどのような構造をしていて、どこで何が行われているかを適切に把握することが大切になります。プロセスを理解し、そのプロセスの中で自動化できる範囲を特定し、特定する中でどこに AI を使うかを判断する。その時に大事なものは AI に何ができるかを理解することです。

米オープン AI 社が営利化計画を断念したニュースがありました。自由に開発できる中国に遅れるリスクについてどう考えますか？

AI の発展にはデータが重要であり、中国のように国が認めた場合は情報もしくはデータを自由に使える状況では、非営利かどうかは別にして AI の発展という点においては中国に利があると思っています。その中で遅れをとらない AI のモデルを持つのは国益のためにも重要だと考えます。

編集後記

梅雨には大雨が発生し、特に近年は大きな被害が出ています。またこれからの梅雨明けは台風の影響もあり、集中豪雨が起ころやすくて、甚大な被害が発生することが予想されます。沖縄慰霊の日や広島・長崎の平和記念式典に加え、万博、参議院選挙もあり、機動隊員の皆さんには暑い厳しい季節が訪れます。(励ます会事務局)

講演後質疑応答

より強いエージェント型の AI の開発に向けて、我々はどういう能力を身に付けて AI を活用していくべきでしょうか。

AI エージェントを組み上げるために考えるポイントは二つあると思います。一つは AI に何ができて何ができないかを理解すること

← 今月の賛助広告会員 →

明鋼材(株)
(株)エヌテック
(株)メタルワン
日鉄ドラム(株)
(株)ワークス
芝本産業(株)
岡田運輸(株)

《賛助広告募集》